



あのなあ

正直クソほど
借りてえわ

『我らは墓守』

『御霊を鎮め
死ぬまで守れ』

そう教わって
今まできたんだ

その墓から
あんなモノ
生えてくるか
普通!?

わはは
はは

笑いごとじゃ
ねえんだよ…

まあそう
愚痴るな

先祖代々守ってきた
社がメチャクチャに
なっただけでも
クソ悶んでるって
のに…

然も
ありなん

先の嵐は
尋常ならざる
強さであった

愚痴りたくも
なるわ



再び静かに
お眠りいただく
だけで良いのだ

簡単に
言いおって



お前ら人間は
無力なくせに
要求だけは
一丁前だな

そういう
生き物だ

開き
直るな



とは言え
このままにも
しておけん

滅するか

やめろ

あんたに頼むと
これだから
いやなんだ



まア俺とて
無駄な殺生は
好まん

眠らせたいだけ
ならば寝かしつけの
上手い奴を呼んで
やる

スマホ
使うんだ

念も通さず
なんかい

も...もう
ダメです

あきらま
な

頑張れ
負けるな

これ
勝ち

あ
せ







今日は
鬼さん



きもちの
しつと
くまひん

おひつと



なので
アクマキも
一緒にす

やったあ！

おっ

来たか



旧き世

鏡は神を映し
異なる世界を
繋ぐと言われた

手中に収めた者は
神の力をも得ると
信じられ

鏡をめぐる争いは
長く続いたようだ

人間どもの欲を
一身に受け続けて
みろ

路傍の石として
魔を孕むわ

信仰の対象で
あった鏡とも
なれば尚更
……ですか

然り

だが一たび
輝きを失えば
人の信心など
霧散する

「哀れ鬼と化した
鏡は地の下へと
封じられたので
ありました」